

2025静岡県インターハイ中部予選を戦い抜いて



スタメンの集合写真

去る令和七年五月三日、静岡県立藤枝北高等学校を会場にしてインターハイ第三試合が行われた。本校(藤枝北高校)は相良高校を相手に熱戦を繰り広げた。

前半十五分、相良高校に先取点を取られた。その後藤枝北高校が一点を奪い返したように見えたが、残念ながらオフサイドであった。さらに前半終了間近に相良高校に追加点を取られた。

後半開始五分、相良高校に三点目を取られた。後半二十五分、藤枝北高校が一点を取り返すも反撃はここのまで。

結果は惜しくも三対一で藤枝北高校は敗れた。

【インターハイ中部予選について】

今回の中部予選は、リーグ戦を勝ち抜いた高校がトーナメント戦に出場するという形式だった。藤枝北高校は焼津水産高校、静岡城南高校とリーグ戦を行い、1位で通過し今回の相良戦に臨んだ。

【リーグ戦の戦績】

4月20日(日)	本校(藤枝北高校)	13 — 0	焼津水産高校	本校の勝利
4月26日(土)	本校(藤枝北高校)	6 — 0	静岡城南高校	本校の勝利

《サッカー部監督・小長谷太作先生から》

この敗戦の悔しさを忘れず、日々の練習や生活から改善していきましょう。

一人一人の取り組み、意識の変化がチームを変えます。待っていても変わりません。

今の自分に何ができるのか、常に自分に目を向けて目標をもち、その時々を全力で取り組む努力をしよう。

この敗戦からどのような成長ができるのか楽しみにしています。

《取材担当部員の感想》

試合を近くで見て、選手一人一人が勝利のために一生懸命戦っている姿に感動しました。

いい試合を見ることができました。

(北川、塚本、内藤)



相手チームからボールを奪おうとしている様子

【相良戦を終えて】3年生にインタビュー

31HR 部長 小澤康平さん

—北高チームがこの一戦で意識していた「目標」や「課題」とは？

チームでは、県ベスト 16 という目標を掲げて日々の練習に取り組んでいます。そしてこの一戦では日頃の練習でやっていることを出し、何が何でも勝つという心がまえでのぞみました。

—相手チームの手ごわかった点は？

相手チームは、自分たちより「個の力」が勝っていて苦戦しました。相手チームのトップの選手が中心に攻めてきましたが、北高側が対応できていた部分もありました。しかし相手に決めるところをしっかりと決められて負けてしまいました。守備の面でも対人の守備が強く、相良高校の粘り強い守備には苦しめられました。

—試合展開中、『以前より成長したな/練習の成果が出ているな』と感じたことを教えてください。

以前の新人戦大会よりも、一人一人の個の技術と運動量は確実に上がっていると思いました。

私たちは、ボールをしっかり止める、蹴るという技術の部分と最後まで走り続けられる体力をつけるため日々取り組んできました。その結果が出ていたので良かったです。でも、負けてしまったことで「もっとやらなくてははいけない。まだ足りないのだ」と感じました。次に向けて取り組んでいきたいです。

—相良との試合を終え、どんな気持ちですか？

今回戦った相良高校は、練習試合でも負けてしまっていたので自分たちにとっては因縁のある相手でした。その相手に今回も負けてしまいとても悔しかったです。でもチームの課題と個人の課題、成長した点が見えてきた試合だったからいい試合だったと思いました。次のリーグ戦・選手権大会では、課題の部分と武器を伸ばせるように日々取り組んでいきたいです。

34HR 副部長 名木颯太さんの感想

この一戦で意識していたことは、ポイントとなる相手選手を抑えることと、自分たちが苦手としているフィジカルが強い相手とどのように戦うかを練習から考えて試合に臨みました。

相手チームは一人一人が北高の選手よりも体が大きいので、フィジカル面での勝負で劣ってしまうことが戦いに影響がありました。相手の攻撃は、サイドからクロスをあげてきてピンポイントでヘディングで合わせてくるので、常に集中していないと隙をやられてしまう試合でした。

相良とは過去二回戦っており、いずれも大敗しています。しかし今回は、負けてしまったものの、1対3と今までではいい試合だったと思います。試合内容も相手チームのポイントとなる選手をかなり抑えられていたので、試合展開的には悪くなかったです。自分たちのマークミスからの失点だったので、もっと対策をしていたら、結果を変えられたと思っています。

もちろん、試合に負けたことは悔しいですが、得られたものもあります。相良さんは僕たちが苦手とするチームなので、いい練習になると毎回感じています。次に戦った時に同じ結果になることがないように、チーム一丸となって練習から本気で取り組んでいきたいと思っています。

34HR マネージャー 山内陽菜さんの感想

去年は県大会出場チームが32チームだったのに対し、今年から出場チームが16チームに減ってしまい、県大会出場を目指して日々の練習をチーム一丸となって頑張っていたと思います。

マネージャー4人に加え、トレーナーさんが一人新たに加わり、本格的なサポートをしながら今大会に臨みました。しかしサポートしきれないこともあったので、次の大会までにトレーナーさんと協力して、よりよいサポートをみつけ、コミュニケーションをとりながら引退まで全力で支えていきたいと思っています。

